

# いちご栽培管理 (H30.1.)

(有) 丸 富

12月は曇天で日照不足が続き、地温が低く生育が遅れた。品種によって差はあるが、うどんこ病が一部で発生した。ダニやスリップスなども発生した。ガク枯れや裂果・裂皮などの生理障害も発生した。

## 着色促進

厳寒期は日照不足や温度低下で着色しにくい。できるだけ温度を保ち、光合成を促進する。

着色促進に**笑顔 500 倍**(又は**天地の恵み 500 倍**)と**サンミネーラ 10,000 倍**を数回、葉面散布する。

## 肥大促進

地温が低い厳寒期は、根の先端で吸収されるカリや微量元素が吸収されにくい。地温や吸収根の状況に応じて、葉や根から養分を補う。

果実の肥大促進に**K-40 1,000 倍**と**サンミネーラ 10,000 倍**を適宜散布する。

灌水による肥大促進に**K-40 250g/10a**と**サンミネーラ 50g/10a**を1ヶ月に2回灌水する。

## 電照

短日や日照不足で光合成が少ない時は、電照で過度の栄養生長に管理せず、着色を促し着果負担を軽減する。日長が長くなったら、少しずつ電照を短くする。

着色が遅い時や出蕾が悪い時は電照を短くし、**笑顔 500 倍**と**サンミネーラ 5,000 倍**を葉面散布する。

## 病害対策

うどんこ病や加齢病は栄養生長し、軟弱傾向になると発生が多くなる。窒素消化と細胞強化を図り、病害対策を事前に行う。

充実促進に**サンミネーラ 3,000 倍**と**スーパーカル 1,000 倍**(又は**ウルカル 1,000倍**)を葉面散布する。

発根促進と酸素供給に**G バランス DF 1 kg/10a**と**発根力 1 kg/10a**を1ヶ月に1回灌水する。

## 害虫対策

満月頃は害虫の活動が盛んになるから、害虫の動向を観察して、事前対応で予防する。

害虫対策に**時を越えた贈り物 1,000 倍**と**バイオアクト TS 2,000 倍**を散布又は防除時に適宜混用する。

日頃から**時を越えた贈り物 200 cc/10a**と**バイオアクト TS 50~70 cc/10a**を5~7日毎に灌水する。

## 追肥(液肥)

生育状況、土質、天候によって施用量が異なる。観察して状況に応じて加減する。

**天地の恵み(時を越えた贈り物) 200 cc/10a**

**プロ液肥 5~7 kg/10a**

**サンミネーラ 50 cc/10a**

**バイオアクト TS 50~70 cc/10a**

**5~7 日毎に灌水する場合**

**※生育状況に合わせて増減する。**

※サンミネーラの代わりに、シカアップ 100~150 cc、海藻のエキス 50g、K-40 100g でもよい。

ご注文やお問い合わせは、

有限会社 丸 富 TEL (0942) 65-0123

**FAX0942-65-1091** (24 時間受付)

携帯 090-3328-7603 (富松まで)